

ほうろく灸祈祷

「土用丑の日」というと何を想像されますか？ほとんどの方は「鰻を食べる日」と答えられるでしょう。これは江戸時代に鰻屋さんが売れなくて困っている時、平賀源内さんに相談をしたところ「本日丑の日」という張り紙を店に貼りなさいと言われたのが発祥とも言われています。

それよりももっと昔から「夏の土用丑の日」には「ほうろく灸祈祷」を行う習慣がありました。「ほうろく」という素焼きの皿を頭に乘せ、頭頂部にある「百会^{ひゃくえ}」というツボにお灸をすえます。古来より暑気払い・頭痛封じ・不眠・精神安定などに効果があるとされ、一年で一番暑い時期に行うことにより、夏バテ防止にも効果的です。お灸の力と加持祈祷^{かじきとう}の力が合わさり、健康増進と開運吉祥^{かいうんきつしょう}の功德を頂けます。

唱導寺では丑の日ではなく、下記の日程で行っていますので、お気軽にご参加ください。所要時間は約1時間です。

7月18日 午後1時・29日 午前11時/午後2時

8月4日 午後3時・8日 午前11時・18日 午後1時

ほうろく灸祈祷料—1千円



お問い合わせは唱導寺まで TEL045-842-2955